

# 事業報告書及び決算書類

平成22年度

平成22年4月1日から

平成23年3月31日まで

財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団

# 平成22年度 事業報告

自 平成22年4月1日

至 平成23年3月31日

## 【I】基本方針

余暇時間の増大、高齢化の進行など社会環境の変化は、人々の生活様式にも急激な変化をもたらし、国民の健康に関する意識の向上と共に、スポーツに寄せる関心は益々高まりを見せています。

このような情勢下、スポーツ科学の振興を目的とする当財団ではこの期待に応えるべく、改めて事業の重要性を認識し、事業活動の推進を図ってまいりました。

まず、健康の増進と体力向上及びスポーツに関連する学術研究の助成事業では、財団選定テーマによる研究委託並びに研究課題公募による研究助成を引き続き実施いたしました。

一方、財団法人日本体育協会への助成を行い、国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するとともに、財団法人日本オリンピック委員会に対しても、オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化を目的として同様の助成を行いました。また、スポーツ科学の国際交流推進を目的として日本体力医学会へ助成を行いました。

なお、平成21年度の事業成果を広く関係者に公表するため、機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.31を発行いたしました。

## 【II】事業計画

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

### 1)研究委託（2件 200万円）

学術委員会・選考委員会において審議の結果、下記2件を選定し、本年度委託研究テーマとして研究を委託いたしました。

#### ① 「組織幹細胞を活性化させる

新規コンディショニング法とトレーニング効果増強法の開発

豊橋創造大学

後藤 勝正

#### ② 「健康の維持・増進を目指した運動処方ヒトおよびラットにおける再検討」

大阪大学

大平 充宣

### 2)自由課題研究（総額800万円）

全国にわたる109の大学または、その他の学校、研究機関より応募された178件の課題の中から学術委員会・選考委員会の審査の結果、下記16件に対し助成を行いました。

●優秀入選（各 50 万円）

- ①「紫外線カット材による野外スポーツウェアの  
耐光性改善と身体防護性能付与に関する研究」  
大阪教育大学 織田 博則
- ②「高気圧酸素療法における腱障害治癒のメカニズムの解明」  
東京大学 久保啓太郎
- ③「遺伝的素因による生活習慣病リスクの増大に習慣的運動が及ぼす影響」  
環太平洋大学 家光 素行
- ④「制御工学手法を用いた三次元加速度信号からの  
酸素摂取量ダイナミクス計測システムの開発」  
山形大学 新関 久一
- ⑤「固有感覚系フィードバック情報による歩行バランス向上効果の検証  
ー神経生理学的観点による転倒予防を目指してー」  
京都大学 木村 哲也
- ⑥「ダイビングによる顎関節症の予防と安全対策  
ーテラーメイドマウスピースの開発とその実用化ー」  
東京医科歯科大学 上野 俊明
- ⑦「高齢者の筋量と身体活動の強度・量・質の関係を明らかにする  
(sarcopenia 予防のための運動基準作成に向けての基礎的研究)」  
福岡大学 山田 陽介
- ⑧「有酸素性運動が中性脂肪の日内変動に及ぼす影響  
：生活活動下における簡易測定器による評価」  
早稲田大学 宮下 政司
- ⑨「睡眠に対する運動の効果 ー睡眠時の自律神経バランスに注目してー」  
県立広島大学 福場 良之
- ⑩「高齢者におけるノルディックウォーキングの運動効果に関する研究」  
名古屋市立大学 竹島 伸生
- ⑪「有酸素運動がもつ小学生の『認知能力向上効果』の脳科学的検証」  
長崎大学 土居 裕和
- ⑫「少年野球肘の予防・治療のための投球フォームチェックシステムの開発」  
大阪産業大学 大槻 伸吾
- ⑬「ウォーキング・ジョギング時の自律神経反応に及ぼす着用ウェアの影響」  
文化女子大学 小柴 朋子
- ⑭「冷え性対策としてのヒートナビ E3 イージーパンツの効果について」  
安田女子大学 楠 幹江
- ⑮「着衣の色、素材と日射透過率、日射反射率、日射吸収率の関係」  
北海道大学 栗原 浩平
- ⑯「ヒト骨格筋硬度の客観的評価法の確立」  
国立スポーツ科学センター 松林 武生

○選考委員（順不同、敬称略）

佐藤 祐造	馬詰 良樹	加賀谷 淳子
梶原 莞爾	川原 貴	島崎 恒蔵
下村 吉治	下光 輝一	田中 宏暁
田村 照子	永富 良一	中島 利誠
西松 豊典	西村 太良	平田 耕造
広田 孝子	福永 哲夫	藤本 繁夫
宮本 武明	吉岡 利忠	

○助成金交付 平成 22 年 7 月

○研究成果報告書提出 平成 22 年 11 月 25 日

(2)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100 万円）

諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、日本体力医学会への助成を行いました。

(3)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（250 万円）

国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するため、財団法人日本体育協会に助成を行いました。

(4)わが国のオリンピック事業の推進を目的とする団体の助成（250 万円）

オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化に寄与するため、財団法人日本オリンピック委員会に助成を行いました。

(5)スポーツの施設・用具・衣服に関する学術的資料の収集、保存及び公開、本財団

の事業推進に関し必要と思われる学術的資料の収集を図るため、日本体力医学会、社団法人繊維学会、社団法人日本繊維製品消費科学会等に対し賛助を行いました。

(6)機関誌の発行

平成 21 年度の事業内容を公表するため第 31 回研究成果報告書を中心とする「デサントスポーツ科学」Vol.31 を本年 6 月に発行し広く研究機関関係者に公表致しました。

### Ⅲ】活動報告

(1)機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.31 発行

平成 22 年 6 月

(2)第32回定時総会及び助成金目録贈呈式

日時： 平成22年6月3日(木)

11:30～11:45 理事会・評議員会

11:45～12:30 助成金目録贈呈式

12:30～13:30 懇親会

場所： 株式会社 デサント 東京オフィス

議題： ①平成21年度事業報告書承認の件

②平成21年度収支決算書承認の件

③理事選任の件

(3)第32回学術研究委託及び自由課題学術研究助成金交付

平成22年7月23日

(4)第33回自由課題学術研究公募開始

平成22年9月1日

(5)第33回自由課題学術研究公募締切

平成22年11月10日

(6)第33回自由課題学術研究公募申請書審査

平成22年11月10日～平成23年2月23日

(7)財団法人日本オリンピック委員会、財団法人日本体育協会ならびに

日本体力医学会への寄附金交付

平成22年12月24日

(8)学術委員会・選考委員会

日時： 平成23年2月23日(水) 12:00～14:00

場所： 株式会社 デサント 東京オフィス

議題： ①第33回自由課題学術研究公募審査の件

②学術研究委託選定の件

③その他

(9)理事会・評議員会(書面)

月日： 平成23年3月22日(火)

議題： ①平成23年度事業計画書案承認の件

②平成23年度収支予算書案承認の件

③公益財団法人への移行承認の件

④最初の評議員選任方法承認の件

⑤最初の評議員選定委員会委員候補者承認の件

⑥最初の評議員候補者推薦の件

以上

## 貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,010,102	13,065,815	1,944,287
その他	155,556	0	155,556
流動資産合計	15,165,658	13,065,815	2,099,843
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	576,137,150	576,137,150	0
基本財産合計	576,137,150	576,137,150	0
固定資産合計	576,137,150	576,137,150	0
資産合計	591,302,808	589,202,965	2,099,843
II 負債の部	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本金	576,137,150	576,137,150	0
指定正味財産合計	576,137,150	576,137,150	0
(うち基本財産への充当額)	(576,137,150)	(576,137,150)	(0)
2. 一般正味財産	15,165,658	13,065,815	2,099,843
正味財産合計	591,302,808	589,202,965	2,099,843
負債及び正味財産合計	591,302,808	589,202,965	2,099,843

## 正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	9,289,362	9,416,244	△ 126,882
基本財産受取配当金	10,659,201	10,659,201	0
基本財産運用益計	19,948,563	20,075,445	△ 126,882
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息		1,139	△ 1,139
③ 雑収益			
受取利息	5,562	3,944	1,618
雑収益	13,542	12,282	1,260
雑収益計	19,104	16,226	2,878
④ 寄付金収入			
寄付金収入	10,000,000	10,000,000	0
寄付金収入計	10,000,000	10,000,000	0
経常収益計	29,967,667	30,092,810	△ 125,143
(2) 経常費用			
① 事業費			
委託研究費	2,000,000	2,000,000	0
助成金支出	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
寄付金支出	6,000,000	6,000,000	0
資料収集調査費	725,000	825,000	△ 100,000
印刷製本費	5,486,828	6,519,513	△ 1,032,685
事業費計	22,211,828	25,344,513	△ 3,132,685
② 管理費			
支払報酬	2,903,158	1,149,997	1,753,161
会議費	1,313,040	1,332,816	△ 19,776
旅費交通費	1,313,420	1,559,000	△ 245,580
通信運搬費	78,068	71,585	6,483
雑費	48,310	31,462	16,848
管理費計	5,655,996	4,144,860	1,511,136
経常費用計	27,867,824	29,489,373	△ 1,621,549
当期経常増減額	2,099,843	603,437	1,496,406
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	2,099,843	603,437	1,496,406
一般正味財産期首残高	13,065,815	12,462,378	603,437
一般正味財産期末残高	15,165,658	13,065,815	2,099,843
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	576,137,150	576,137,150	0
指定正味財産期末残高	576,137,150	576,137,150	0
III 正味財産期末残高	591,302,808	589,202,965	2,099,843

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目		金 額	
I	資産の部		
	1. 流動資産		
	現金預金		
	普通預金    三井住友銀行船場支店	11,439,586	
	普通預金    北國銀行大阪支店	3,570,516	
	現金預金合計	15,010,102	
	その他    ロイズTSBバンク（ユーロ円債）経過利息	155,556	
	流動資産合計		15,165,658
	2. 固定資産		
	基本財産		
	投資有価証券    スウェーデン地方金融公社債	100,000,000	
	ノルウェー輸出金融公社債	200,000,000	
	ロイズTSBバンク（ユーロ円債）	100,000,000	
	利付国庫債券（10年）第238回5月	100,000,000	
	株式会社デサント株式（1,522,743株）	76,137,150	
	基本財産合計	576,137,150	
	固定資産合計		576,137,150
	資産合計		591,302,808
II	負債の部		
	負債合計		0
	正味財産		591,302,808

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券については、総平均法による原価法によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	576,137,150	0	0	576,137,150
合 計	576,137,150	0	0	576,137,150

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	576,137,150	576,137,150	0	0
合 計	576,137,150	576,137,150	0	0

### 4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
投資有価証券			
スウェーデン地方金融公社債	100,000,000	74,730,000	△ 25,270,000
ノルウェー輸出金融公社債	200,000,000	172,360,000	△ 27,640,000
ロイズTSBバンク(ユーロ円債)	100,000,000	93,730,000	△ 6,270,000
利付国庫債券(10年)第238回5月	100,000,000	101,220,000	1,220,000
合 計	500,000,000	442,040,000	△ 57,960,000

## 収 支 計 算 書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	6,170,000	9,289,362	3,119,362
基本財産配当金収入	10,640,000	10,659,201	19,201
基本財産運用収入計	16,810,000	19,948,563	3,138,563
②雑収入			
受取利息収入	0	5,562	5,562
雑収入	0	13,542	13,542
雑収入計	0	19,104	19,104
③寄付金収入			
寄付金収入	10,000,000	10,000,000	0
寄付金収入計	10,000,000	10,000,000	0
事業活動収入計	26,810,000	29,967,667	3,157,667
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
委託研究費	2,000,000	2,000,000	0
助成金支出	8,000,000	8,000,000	0
寄付金支出	6,000,000	6,000,000	0
資料収集調査費	800,000	725,000	△ 75,000
印刷製本費	7,000,000	5,486,828	△ 1,513,172
事業費支出計	23,800,000	22,211,828	△ 1,588,172
②管理費支出			
支払報酬	7,200,000	2,903,158	△ 4,296,842
会議費	1,200,000	1,313,040	113,040
旅費交通費	1,530,000	1,313,420	△ 216,580
通信運搬費	45,000	78,068	33,068
雑費	55,000	48,310	△ 6,690
管理費支出計	10,030,000	5,655,996	△ 4,374,004
事業活動支出計	33,830,000	27,867,824	△ 5,962,176
事業活動収支差額	△ 7,020,000	2,099,843	9,119,843
II 予備費支出	500,000	0	△ 500,000
当期収支差額	△ 7,520,000	2,099,843	9,619,843
前期繰越収支差額	9,890,000	13,065,815	3,175,815
次期繰越収支差額	2,370,000	15,165,658	12,795,658

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金（基本財産となるもの及び特定預金を除く）及び未収入金、未払金など短期債権・債務を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は、2. に記載のとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	13,065,815	15,010,102
その他	0	155,556
合計	13,065,815	15,165,658